

PDF版では表紙写真を公開していません。ご了承ください。

今号の写真 [表紙 / 裏表紙 / 上]

©沖縄県那覇市首里「木漏れ日喫茶」イベントにて

本誌をお手に取っていただき、ありがとうございます。

4月にこども家庭庁が発足する2023年は、幼児教育界にとって節目のときとなります。そこで、今号ではさまざまなデータに着目し、そこに表れる「数字」をもとに幼児教育界の「今」と「これから」について、識者に語っていただきました。

後半では、「数字」からは少し離れて、可視化が難しい非認知（社会情動的）能力の育成に関する研究や、沖縄県で展開されている園とは異なる形での个性的な取り組みをご紹介します。沖縄県では3年ぶりとなる対面での取材を行い、表紙もイラストから写真へと変わりました。子どもたちとの触れ合いを通して、改めて、幼児教育のすばらしさや、子どもの育ちの基礎を担う責任の大きさをかみしめています。

ぜひ、多くの先生方にお読みいただき、今後の園のあり方を考える際にお役立ていただけたら幸いです。

「これからの幼児教育」編集部

#### STAFF

編集発行人 / 西村俊彦 発行所 / (株) ベネッセコーポレーション  
印刷製本 / 凸版印刷 (株) 監修 / 北野幸子 (神戸大学大学院教授)  
企画・制作 / 仙田由紀子 (ベネッセ教育総合研究所)  
編集協力 / (有) ベンダコ、丹羽三千代、菊池健 (mananico)、神田有希子  
執筆協力 / 二宮良太  
表紙 + 特集扉デザイン・イラスト協力 / へんな優 撮影協力 / 菊池健 (mananico)

## CONTENTS

### 1 特集

#### 子どもを真ん中にして 数字をもとに考える幼児教育

### 2 対談

#### 数字をもとに語り合う幼児教育界の「今」と「これから」

保育システム研究所 代表取締役 吉田正幸

神戸大学大学院教授 北野幸子

### 8 調査紹介

#### 子どもの生活リズムと健康・学習習慣に関する調査2022

#### 平日・休日の生活リズムのズレを生む

#### 「社会的時差ボケ」。保護者とともに改善を

広島大学大学院准教授 田原 優

愛国学園短期大学准教授 古谷彰子

### 12 研究紹介

#### 子どもの具体的な姿を通して

#### 「非認知（社会情動的）能力」を可視化し

#### 保育の質の向上につなげる

一般社団法人 大阪府私立幼稚園連盟教育研究所




### 16 特別企画

#### 数字では見えない「育ち」を支える保育実践

沖縄女子短期大学助教 羽地知香

※本文中のプロフィールはすべて取材時のものです。  
また、敬称略とさせていただきます。  
※本誌掲載の記事、写真の無断複写、複製及び転載を禁じます。

©Benesse Corporation 2023



# 子どもを真ん中にして 数字をもとに考える 幼児教育

年に2回発行する本誌では、これまでベネッセ教育総合研究所による調査をもとに、「数字」という側面から、子どもの育ちや生活、園の状況などに関する研究成果を、解説や提言などのさまざまな形でご紹介してきました。

今号ではそれらに加え、幼児教育界全体に視野を広げて、少子化という課題や園種別の規模の変化、園を支える先生方の職場環境などを、「数字」に着目して取り上げています。こども家庭庁の発足により新しい展開も感じられる中で、各園の力が結集され、幼児教育界の「これから」が形づくられていくよう、ともに考えていきます。

